



ヒューマンファクター社会的責任から社会的資産への道筋一

(The human factor - From Liability to Asset)

職場におけるヒューマンファクタの重要性は昨今広く認識されていますが、ヒューマンファクタが何を意味するか、あるいはヒューマンファクタがもたらす実用的な結果に対する解釈はしばしば全く異なったものとなっています。多くの場合、ヒューマンファクタは、システム性能において人間の限界から生ずる結果をよりよいものにする工学的色彩の強いものに留まっています。一方では、ヒューマンファクタは、人間を「信頼性の低い」機器要素—即ちヒューマンエラー—と考え、それに対する対策を長年に亘って取り組んでいることもヒューマンファクタの特徴でしょう。さらには、ヒューマンファクタは、効率的で安全な社会—技術的システム運営のための設計に対して、本質的に役立てることができるものと考えられています。

これらを踏まえ、本講演では、ヒューマンファクタの社会的責任と社会的資産の「二面性」について議論を進めます。ヒューマンパフォーマンスの変動性が本質的なものであり、それが、成功、失敗の両方の理由となり得ることの紹介を実例を以て行います。システム設計と安全性評価のなすべきことは、どのようにこの変動を巧みに利用するかということかについて、新しい見地から説明を行います。講演はできるだけゆっくりと分かりやすい英語で実施して頂きます。又、内容についての重要なところは同教授講演の後、担当が日本語で要約説明を行いますので、英語に不慣れな方にも十分理解していただくと考えております。

本公開セミナーは、文部科学省科学技術振興調整費による新興分野人材養成プログラム「高度リスクマネジメント技術者育成ユニット」のワークショップ IB の一環として、本学の学生を主たる対象としますが、社会的啓蒙を図るために広く門戸を開放します。ご関心のある皆様の積極的なご参加をお願いします。

主催： 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター
「高度リスクマネジメント技術者育成ユニット」実行委員会
(文部科学省科学技術振興調整費新興分野人材養成プログラム)

協賛： 社団法人 日本原子力学会（依頼検討中）社団法人 日本原子力学会ヒューマンマシン部会
（依頼検討中）社団法人 電気学会（依頼検討中） 特定非営利活動法人 ヒューマンインタ
フェース学会（依頼検討中） 特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会（依頼検討中）
神奈川県産業技術総合研究所（依頼検討中） 社団法人 日本高圧力技術協会（依頼検討中）
特定非営利活動法人 安全工学会（同上） 財団法人 電力中央研究所（同上） 高圧ガス保安協会（同上）
横浜国立大学リフレッシュ教育コース（同上）
TOBAC（東京湾岸地域大学間ジョイント・プログラムによる社会人キャリア・アップ 運営協議会）（同上）

日時： 平成19年9月28日（金） 13:30~16:30

場所： 横浜国立大学 大学院講義棟107号室（人数により変更する場合があります）

定員： 100人 程度

参加費： 無料

講演予定 (1) 公開セミナー開催にあたっての挨拶(10分)

横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター長 関根和喜氏

(2) ヒューマンファクター社会的責任から社会的資産への道筋(使用言語 英語)(120分)

フランス パリ国立高等鉱業学校 Erik Hollnagel 氏

(3) フォローアッププレゼンテーション(日本語)(30分程度)

横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 丹羽雄二氏

(4) 質疑応答(15分程度)

申込方法： ①氏名、②所属、③連絡先住所、④電話番号、⑤Fax 番号、⑥E-mail を記載の上、
下記にFAX または E-mail でお申し込み下さい。

*「公開セミナー第2回参加申込」と題記してお送り下さい。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター（担当；河村、鈴木、小林）

FAX：045-339-4294, E-mail：anshin@ynu.ac.jp

TEL：045-339-3774, URL：http://www.anshin.ynu.ac.jp/

